

セブン&アイグループ 脱炭素社会への取り組み

2021年8月3日
株式会社セブン&アイ・ホールディングス
代表取締役社長
井阪 隆一

セブン & アイグループ概要



株式会社セブン & アイ・ホールディングス (数値は2021年2月末現在)

- ・グループ売上 **11兆448億円**※
- ・営業利益 **3,663億円**
- ・国内店舗数 **約22,600店舗**
- ・国内来客数 **1日約2,240万人**

※「グループ売上」は、株式会社セブン-イレブン・ジャパン 及び 株式会社セブン-イレブン沖縄、7-Eleven, Incの加盟店売上を含めた数値

国内・海外 CVS事業

- セブン-イレブン・ジャパン
- 7-Eleven, Inc.



スーパーストア事業

- イトヨーカ堂
- ヨークベニマル
- ヨーク
- シェルガーデン



百貨店事業

- そごう・西武



金融関連事業

- セブン銀行
- セブン・フィナンシャルサービス
- セブン・カードサービス



専門店事業

- 赤ちゃん本舗
- ロフト
- セブン & アイ・フードシステムズ



環境宣言と環境投資

環境宣言(2019年5月発表)



4つのテーマで、2050年の目指す姿を発表

- ・CO2排出量削減
- ・プラスチック対策
- ・食品ロス・食品リサイクル対策
- ・持続可能な調達



戦略投資を除く総投資額の5%以上を環境投資に振り向け、サステナブルな社会づくりに貢献し続けます。

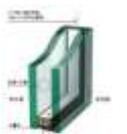
2021年度～2025年度の環境投資額＝約1,250億円

(太陽光パネルの拡大、省エネ設備の導入、ペットボトル回収機の増設等)

CO2排出量の削減の3つの柱

省エネ

●省エネ設備の導入



- ・店内の正圧化
- ・ペアガラス

電気使用量約43%削減店舗の拡大(セブン-イレブン)

●稼働管理・EMSの導入



温度異常監視
⇒AI管理

●各店舗での省エネの取り組み



スマートセンサー
セブン-イレブンの約2万店舗
の分電盤に設置済

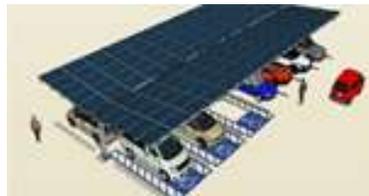
創エネ※オンサイト(敷地内)

●太陽光パネル 設置拡大



自産自消

●設置場所・発電容量・蓄電池の拡大



ソーラーカーポート
蓄電池も設置

- ・8,681店(0.9億kwh)→11,000店(3億kwh)
- ・店舗での水素エネルギーの利活用
- ・次世代太陽電池、蓄電池の研究開発

再エネ調達※オフサイト(敷地外)

●グループ専用 発電所の拡大



太陽光発電所



風力発電所



水力発電所

- ・オフサイトPPAモデルの拡大
- ・農営型太陽光発電
- ・VPPIによる電力の相互融通

店舗の電気使用量削減(省エネと創エネ)と長期安定した再エネ電力調達

【省エネ】 フロントラインの店舗でお客様とともに

お店と本部が共に省エネを考える



スマートセンサー

セブン-イレブンの約2万店舗
の分電盤に設置済

- 電気が「いつ、どこで、どう使われたか」
店舗と本部、双方で可視化
- ・設備稼働の問題を早期に発見。
 - ・省エネ効果を店舗で確認。
更なる取組みへつなげる

従業員と共に省エネを考える

GREEN CHALLENGE 2050
お店でできる環境対策

省エネ対策 重点6項目

- ① 週1回のフィルター清掃実施
- ② ウォークインの開放時間削減
- ③ バックルーム・事務所の照明は必要な時だけON
- ④ アイスケースの吹き出し口に番重等を置かない
- ⑤ 室外機の前に物を置かない
- ⑥ 空調の適切な運転

省エネ対策 重点6項目
(全店取組実施)

地域の皆様と共に省エネを考える



ライトダウンの実施
(約7000店今年7月実施)

グループ約22,600店舗での 小さな行動の積み重ねが大きな効果につながる

【創エネ】 太陽光パネルの設置店舗の拡大

総年間発電量 9,300万kWh(8,681店舗) → **2030年 3億kWh(11,000店舗)**



セブン-イレブン・ジャパン

20年度末店舗数	8,653店舗
20年度実績	8458万kWh
30年までの計画	10706店舗



イトーヨーカドー

20年度末店舗数	13店舗
20年度実績	382万kWh
30年までの計画	50店舗



ヨークベニマル

20年度末店舗数	7店舗
20年度実績	298万kWh
30年までの計画	100店舗



ヨーク

20年度末店舗数	2店舗
20年度実績	30万kWh
30年までの計画	40店舗



そごう・西武

20年度末店舗数	2店舗
20年度実績	1.2万kWh
30年までの計画	4店舗



セブン&アイ・フードシステムズ

20年度末店舗数	4店舗
20年度実績	2.7万kWh
30年までの計画	100店舗



食品工場

実績	2工場
IYフーズ工場	30.7万kWh
わらべや日洋 香川工場	86万kWh

今後の達成ポイント

- ・ 太陽光設備の高効率化
- ・ 既存店舗の追加設置
- ・ 大型店への新規設置
- ・ 次世代太陽光設備導入
- ・ 次世代蓄電池導入

【再エネ調達】 オフサイトPPAの取り組み

※ PPA=Power Purchase Agreement(電力販売契約)



契約	オフサイトPPA契約(日本初)	イトーヨーカドー 専用発電所(2.3MW)	2022年 1月~(20年契約)
供給者	NTTアノードエナジー	セブン-イレブン専用発電所(0.8MW)	2021年 6月~(20年契約)

PPAモデルの再生可能エネルギーの取り組みを今後も加速していきます。

ご清聴ありがとうございました